

2019年2月26日

助成事業実施報告書

団体名 一般社団法人ココロミクラフティ

代表者・役職名 氏名 代表理事 本間 征二

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

あきらめをなくす！車両購入事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

福祉に従事していた経験を活かし、「地域を、暮らしを、人生を」「心見て、試みることで」「ともに創る」という理念の基、2017年4月に創設しました。現在正会員21名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

入居する子どもたちの多くは、複雑な家庭環境から、他の子どもたちが当たり前に経験してきたことを経験していない子どもが圧倒的に多く、いつしか夢や希望をあきらめていることが多いと感じます。私たちの施設のある釧路市は釧路湿原をはじめとした国立公園などの自然に囲まれており、自然体験などのレクレーションの資源は豊富にあります。そういうレクレーションの機会を通し、開放的になることで、子どもたちの心がおおらかになり、今まであきらめてきた様々なことを取り戻すきっかけになればいいと考えます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

7~8人乗りの車両を購入します。購入した車両は主に①自然体験を目的としたレクレーション、②利用者の日常の送迎、③利用者の引っ越しの3点を使用目的として使用します。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

イベントを行う予定でしたが、就職活動や部活動などで開催することはできませんでした。目的の③であつた引越しについては、9月にホームから130km離れた地域からの措置委託児童の荷物の運搬も本人が荷物を精査することなく、持ってきてないと希望したものを運搬することが出来、児童を1名受け入れることができました。また、日常的に②の送迎に使用しています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

入居の児童が増えてきたため、近隣で夏にキャンプなど非日常を演出することと、自活能力のアセスメントのためにイベントを企画しています。引き続き北海道内の他都市からの措置の希望があるため、送迎や引っ越しに活用ていきたいと思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

特になし